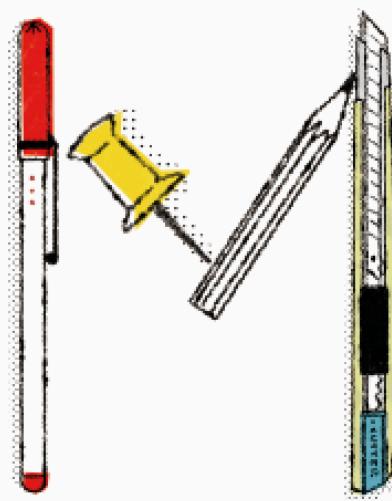
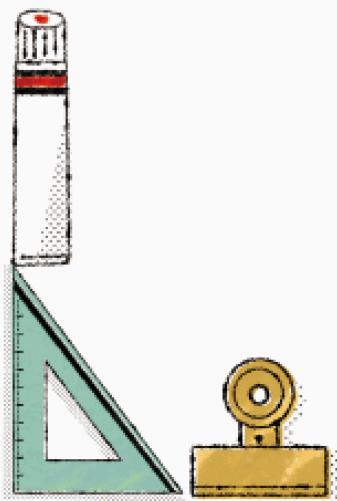


学科別に解説。
選択前に、
この1冊。



C



学科選択支援冊子『ECLM』 2015

はじめに



一年生も早いもので、学科選択という大きな決断の時が近づいてきました。皆さんの中には、すでに所属したい学科が決まっている人もいると思います。

しかし、多くの学生はどの学科にしたらいいか悩んでいることでしょう。どの学科に所属しても、就職に差が出ることはあまりありません。ですので、自分の興味のある学科に進んでいただくことが望ましいです。

希望学科に入っても、他学科の講義を履修することや、他学科のゼミに入ることは出来ます。しかし、それでも学科選択は大学生活を大きく左右します。そのため、あの学科が人気だから、あの学科が楽だから、という周りの意見に流されることなく、自分の意志で選択を行ってほしいです。

この冊子は、学科選択のことが分からぬ一年生のために作られたものです。学科選択で迷った時に、本冊子を参考にしていただけたら幸いです。

目次

学科選択支援冊子 ECLM 2015

はじめに 3

目次 4

経済学科 5

商学科 10

企業法学科 14

社会情報学科 20

謝辞 26

おわりに 27

○掲載内容について

本冊子の授業紹介に掲載しておりますのは、各学科が開講している授業の一部です。また、掲載した内容は、平成27年度のものです。来年度の授業内容、その他実施内容は変わることがありますから、大学から発行されているシラバスや授業オリエンテーションを必ず確認してください。

本冊子掲載内容に関するご意見・お問い合わせは、昼間部学生自治会事務局までお寄せください。

昼間部学生自治会事務局 : shodaijichikai@gmail.com

○表紙デザイン担当 : 山内 梨瑛 (学生自治会事務局)



CONOMICS

経済学科

経済学と一言で言っても、そこで学べる内容は多岐にわたります。しかし、どの講義であっても共通して言えるのは、実践的な能力と論理的かつ国際的な視野を養えるという点です。ただ数字とにらめっこをして、ひたすらに計算にふける学問ではないのです。むしろ、広い視野をもって世界を観測したいという人にはうってつけかもしれませんね。

理論経済学・応用経済学

現実の事象を抽象化した経済理論を学びます。ミクロ経済学・マクロ経済学を土台とし、様々な応用科目が展開されます。

統計学・計量経済学

理論経済学で導き出された仮説を現実のデータと照らし合わせて検証する方法を学びます。

経済史・経済学史

経済という側面から見た歴史や様々な学説の変遷を学びます。

金融・ファイナンス

金融・金融商品や、その取引方法・理論価格などを学びます。

学科教員に聞いてみたい！

経済学科のこんなところ



柴山 千里 先生

研究分野は貿易政策。

小樽商科大学では、国際貿易論、国際経済と現代、国際経済学の講義担当経験あり。

Q1 商大の経済学科では、どんなことが学べますか。

まず、基礎として、個々の企業や個々人の行動を研究する「ミクロ経済学」（以後ミクロ）、一国の経済全体を研究対象にする「マクロ経済学」（以後マクロ）が学べます。それらを土台にし、応用経済学として、財政に注目した「財政学」、企業活動に注目した「産業組織論」、労働市場に注目した「労働経済学」、市場によってはうまく解決できない問題について研究する「公共経済学」、金融は「金融論」「現代ファイナンス理論」「国際金融と世界経済」、国際経済は「国際経済学」「国際貿易理論」「国際マクロ経済学」があります。

私たちの先達が、どのような選択をして経済社会を作つて来たかを考える「経済史」、その時代ごとの経済社会の変遷とともにどのような学問を形成してきたかについて学ぶ「経済思想史」もあります。

経済理論による推論が実際に適切か、あるいはある政策を採用するとどういう効果が予想されるかについてデータを使い分析する「統計学」や「計量経済学」も勉強できます。

また、英語による経済学の講義も多数提供しています。英語で経済学が理解出来ると、国際人としての教養が深まります。

Q2 経済学科の特徴・学科内の学問のつながりを教えてください。

国際的に標準化された経済学の内容を体系的に学べることが本学経済学科の特徴です。ミクロとマクロは応用経済学を学ぶ基礎ですが、各応用経済学の授業では基礎を復習してから講義を進めて行くので、これらの科目履修がミクロやマクロと前後しても授業にはついて行けます。経済学科に進む可能性がある場合は、1年次に入門的なミクロとマクロを学べる「経済学入門I,II」を履修しておいた方が望ましいです。

統計学や計量経済学は、データの処理と結果の解釈の仕方を勉強します。「統計学」を勉強後に「計量経済学」「数理統計学」「経済統計学」「経済データ解析論」に進みましょう。

経済史系の科目は、まず「経済史」を履修した後、「外国経済史I,II」に進んでください。

Q3 数学が苦手な学生でもやっていけますか？

授業でその都度先生方が教えてくれますし、経済学で使う数学は、使い方のお作法が決まっていますので、じきに慣れてしまいます。わからなければ躊躇せずに質問に行きましょう。

歴史系の授業は、基本的に数学は使いませんので、数学を徹底的に避けて通りたい学生はその方面のゼミに進むと良いでしょう。

Q4 学科によって就職先に違いはありますか、また、経済学科の学生は過去にどんな企業へ就職していますか？

他学科に比べると、金融系と公務員が多いという特徴があります。本学は全体として、全国系企業でも道内系企業でも比較的大手に行きやすいです。全体の約半分は、道内に就職します。

Q5 最後に、一年生へ一言お願ひいたします！

社会に出ると経済学の知識がいかに人生の質を高めるかに気づくと思います。経済を見る目が確かであれば、資産形成やローンの組み方でも損する可能性が少なくなります。また、「行動経済学」を勉強すると、人生における意志決定でもしくじりが少なくなります。学生時代に学んでおくと一生の財産になりますよ。

E

これはとりたいオススメ授業

マクロ経済学

この授業では、国や地域全体の経済活動に焦点を当てて分析することで、それらの経済活動を決定している経済の構造や要因を明らかにしていきます。

マクロ経済学を学ぶことで、私たちが疑問に思うことが多い、デフレやインフレがもたらす影響など、経済に対する「なぜ」を理解することができます。

マクロ経済学の基礎から教えてくれるので、経済に対して苦手意識がある学生にもおすすめの授業だと思います。



統計学

講義内容は、平均値や中央値などと言った統計学のツールを学んだり、グラフから情報を見つけ出し、傾向を掴む手法を学びます。

基幹科目2単位の授業ということもあり、他学科の人も受けやすいです。実際に私が2年生の時に履修した際は、他学科の友人も数多く履修していました。

ゼミの活動であったり卒論を書く際には、アンケート調査が必要になってくることも最近は多くなってきています。その際に少しでも統計学の知識があれば、より効果的な分析が行えるはずです。興味をお持ちならぜひ履修することをお勧めします。

国際貿易理論

国際経済学をミクロ経済学の視点から発展させた授業です。政府が貿易における関税や輸入量規制をかけた時とかけない時といった様々なケースにおいて自国の経済にどのような影響が出るのかを学んでいきます。

また、現在問題になっているTPPや、そのほかの自由貿易協定についても、どのようなものかを理解することができます。

ミクロ経済学

“ミクロ”経済学は、経済を構成する個々の経済主体を詳しく分析する学問です。

社会の基本問題として「誰が、何を、どれだけ、どうやって作るか？あるいは、どれだけもらうか？」が挙げられます。経済学が答えるべき基本的な問題は、社会の基本問題を解決する制度・ルールの下で、どんな結果がもたらされるのか、その結果が良いか悪いかを判断することです。

ミクロ経済学では、まず社会の生産技術からどんな資源配分が物理的に可能なのかを定めます。また、個人が持つ利害関係（個人の好み）を定式化し

ます。そうすると、それに従い各人の行動が決まっていきます。次に、資源配分を決めるための制度・ルールを定式化します。最後に、その資源配分の結果の良し悪しの判断を、国民一人ひとりの好みに基づき、民主的に行います。

つまり、ミクロ経済学では、個々の経済主体の経済行動を決める動機や誘因（インセンティブ）を解明し、また結果の良し悪しを国民一人ひとりの利害関係をもとにどのように判断するのかを学びます。

他にもこんな オススメ授業！

国際経済学：

- ・経済学科の授業としては、比較的難しい計算がありません。
- ・経済学入門で扱ったような基本的な経済学の知識をベースにし、国際経済に関する理論を学ぶことで、他学科の生徒でもわかりやすく国際経済について理解できると思います。

先輩たちの声

経済学科のいいところ

社会人1000人が考える今、学びたい教養第2位は経済学（ちなみに1位は日本史）。経済学科に入ることで世界の様々な問題の根本に触ることが出来ます。また、経済学は全世界共通の学問です。外国人にも通用する教養になれますよ。

経済学科の大変なところ

どの講義も大抵出席よりテストのほうが重視されますが、授業中に得られることも多いので、授業にはしっかりでましょう。普段の授業中は静かなので落ち着いて講義が受けられます。

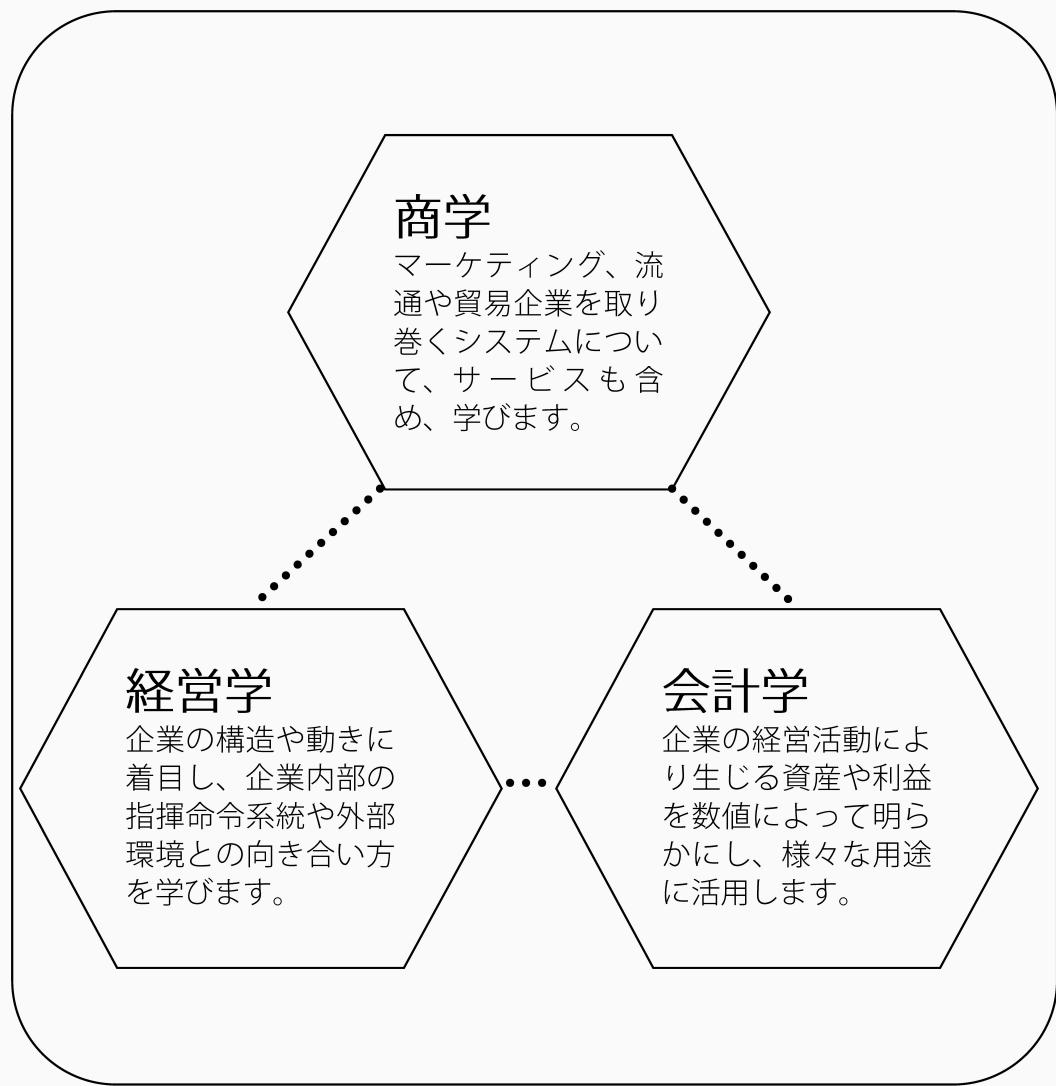


商学科

OMMERCE

商学科は下図のように学問の分類が分かれています。3つの学問分野はそれぞれ独立して存在しつつも、分野をまたいで関係する内容もあるので、時に繋がりが生まれてきます。

よって、必ずしも一つの分野を選び掘り下げていくのではなく、自分の必要とする、学ぶべき内容を適宜組み合わせて見識を深めていけることが、商学科の特徴といえるでしょう。



学科教員に聞いてみたい！

商学科のこんなところ

上山 晋平 先生

研究分野は会計学。

小樽商科大学では、原価計算論と管理会計論の講義
担当経験あり。



Q1 商大の商学科では、どんなことが学べますか。

商学科には、商学講座、経営学講座、会計学講座の3つの講座があり、企業における各種活動（流通システム、マーケティング、貿易、保険、経営管理、労務管理、環境経営、簿記、財務会計、管理会計）について学ぶことができます。

Q2 商学科の特徴・学科内の学問のつながりを教えてください。

企業の活動について、3つの講座から学びます。商学講座では、企業の取引・意味づくりについて、経営学講座では、企業の戦略・組織について、会計学講座では、企業の活動の測定について学びます。

Q3 商大で初めて簿記を学ぶとしてもついていけますか？

復習を心掛ければ、ついていけると思います。

Q4 学科によって就職先に違いはありますか、また、商学科の学生は過去にどんな企業へ就職していますか？

若干の違いはあります。商学科は、金融・保険業、卸売・小売業、製造業などへ就職しています。

Q5 最後に、一年生へ一言お願ひいたします！

学生時代は、勉強だけでなく、サークル活動やアルバイト、友人との交流を通じて色々な経験をして下さい。



これはとりたいオススメ授業

マーケティング

この授業は前後半の2部で構成されています。前半では「マーケティングとは何か?」という初歩的な点から始まり、実際に企業がどういう活動をするのか、製品が影響を受ける需要や競争の動向などの市場状況は時間の変化と共にどのように変化するのかなど、マーケティングをする上での知識を講義形式で学びます。

中間試験が終わった後半からは学んだ知識を踏まえて実際にある企業や製品とその環境を分析し、今後どのようなマーケティングをするべきか、グループワークを通じて考察します。

先輩たちの声

- ・講義内容が日常的に目にするコマーシャルや商品など、親しみやすい内容で分かりやすい!
- ・グループワークもあり、コミュニケーション能力なども身に付くと思いますよ。

経営史

企業の経営の歴史にも様々な変遷があり、イメージするのは日本の経営であり、一様ではありません。国が違えだと思います。しかし、この講義ではば、経営のスタイルからまったく異なる日本の経営には見られない点や経営史の起源ともいえる部分を知ることができます。

その中で、この経営史の講義ではアメリカにおける経営あるいは日本の経営がアメリカの経営に与えた影響、またその逆の立場を学ぶなど、主にアメリカ経営史を学ぶこととなります。

私たちが普段日本で生活しているうちに出会う企業は多くの場合日本企業

きます。

また、経営史における偉人たちの短い文章を原文で読むので、日本語訳では味わえない表現の意味深さを感じることができます。

他の講義にも負けない充実した講義を受けることができると思います。

原価計算論

商学科における会計系科目の1つです。講義では、工業簿記の2級と1級に登場する原価の計算方法について学べます。簿記における重要な範囲なので、簿記2級以上の取得を希望する生徒は受けて損はありません。

授業は、最初に配布資料が配られ、先生が補足説明をしながら練習問題を解くスタイルとなっています。専門的な内容のため、大体の人はチンパンカンパンなまま授業が進むことが多いと思います。だからこそ、復習が肝要な教科と言えるでしょう。

また、当講義では電卓を使います。持っていないと泣きを見るので、家にある電卓かマイ電卓を携帯しましょう。

財務会計論

簿記原理、応用簿記を受講したことがある人にオススメです。これら2つの講義で得た知識を用いて、実際に活用する手法を学びます。後半にあるレポート課題では実際に自分の興味ある企業を対象に自分なりの分析をします。これまでの会計の授業では経験したことのない、実践的な学習することができます。



経営管理論

企業のトップなど、経営を管理する立場にある人がいかにマネジメントを行っているかを学ぶ講義です。現在、企業が実施している様々な経営管理手法や経営体制について学ぶことができます。

実際の企業の事例についても知ることができます。

教授との双方向にコミュニケーションを取る授業なので、雰囲気は活発です。

先輩たちの声

商学科のいいところ

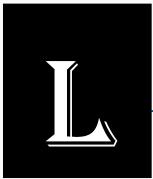
経営学と商学と会計学を必要にあわせてバランスよく学べ、専門性の異なる科目も選択できるところ。

どんなことが身についた？

企業がどのようにして製品・サービスに価値を付与し、企業自体の価値に結びつけているのかを、経営、会計、マーケティングと多面的に分かることになったこと。

商学科の大変なところ

- 悪い点かは分からないが期末試験よりもグループワークやレポートを重視する傾向がある。
- 出席を面倒臭がる人は要注意！



企業法学科

AW

企業法学科では、憲法や民法はもちろん、刑法、行政法、国際法など様々な法律を学ぶことができます。各法律ごとに、独立して学ぶことが出来ますが、民法と商法や、憲法と行政法といった法律間の関係する内容を理解することでより深い学習をすることができます。法律間の関係については下記も参考にしてください。

基礎法

・公法

国（公共団体）や、国民との関係を規律する法律。憲法が土台であり、その上に行政法・租税法などがあります。

・私法

私人間の関係を規律する法律。民法が土台であり、その上に商法・労働法などがあります。

企業法

企業とステークホルダーの関係を規律する会社法、労働法や、より大きな視点から市場の独占、国家間の貿易などを規律する経済法、国際経済法など、企業と経済にかかわる科目群です。

学科教員に聞いてみたい！

企業法学科のこんなところ

河森 計二 先生

研究分野は民事法学。
小樽商科大学では、商法Ⅰ・Ⅱ、法学、
商法研究Ⅱ、法学総合研究B、
ビジネス法務基礎 の講義担当経験あり。



Q1 商大の企業法学科でどんなことが学べますか。

一般的な「法学部」と同様の科目を学ぶことができます。
たとえば、憲法、民法、商法、刑法などといった科目のほか、労働法や社会保障法、あるいは国際法などと幅広く学ぶことができます。
しかしながら、法学部とは違う面として、商学部のなかで法を学ぶことができるわけですから、実際の社会のなかで法律がどのようにみられているのかを学ぶことができます。
法律はいわば社会のインフラともいいくべきものですから、社会人になったときには必ずといって法律の知識や法的思考力が必要になります。その「感覚」を学生時代に身につけることは、どのような業種に進んだとしても大変な差になるものと思います。

Q2 企業法学科の特徴・学科内の学問のつながりを教えてください。

さまざまな法律を勉強できるわけですが、たとえば、これから皆さんが企業への就職活動を行うときにはどのような法律が関係するのでしょうか？思いつくのは労働法。しかし労働法だけではなく、そこには民法や社会保障法、あるいは企業しようとする方にとっては会社法や税法の知識も必要となります。日常生活のなかにも様々な法律が関係してきます。

皆さん、これから何か行動しようとしたときには、さまざまな法律が関係します。でも難しく考えることはありません。それをいまの大学生の時代に感覚として身につけることができるはずです。

Q3 論述問題を解く際のコツはありますか、また、六法の条文などを暗記する必要はありますか？

はじめに、六法の条文を暗記する必要はありません。

社会に出ると、必ずといってよいほど書類を書かされてプレゼンなどをしなければなりません。そのとき、論述問題で慣れているに越したことはないはず。

そうすると、良い論述の仕方はどのようなものかが気になります。

論述のコツということになるかはわかりませんが、大切なことは授業などで得た知識の整理を行うことです。知識をもつことだけではなく、目的にしたがってどのように読み手に伝えるかがポイントになると思います。いわば読み手と書き手のコミュニケーションをどのようにするか。

よく三段論法というものが紹介されますが、単純なものとしてつぎのものがあります。

- ・大前提：すべての人間は死するものである。
- ・小前提：ソクラテスは人間である。
- ・結論：ゆえにソクラテスは死するものである。

このようにみると、社会のあらゆる事象のなかで大前提となるものに法律の条文をあてはめて、そこに小前提として社会の事象につなげれば、結論がどのように導き出されるかが見えてきます。

Q4 学科によって就職先に違いはありますか、また、企業法学科の学生は過去にどんな企業へ就職していますか？

公務員になられる方の多くが企業法学科を選択されているような気がします。ただ、公務員以外にも、たとえば私のゼミの卒業生も含めてみると、銀行、証券、保険といった金融系に勤めるかたも多くいますし、そのほか、弁護士や税理士になっている方や大学教授になっている方、あるいは最近も全日空の客室乗務員になっている方もいます。

Q5 最後に、一年生へ一言お願いたします！

大学は社会にでる最終ラウンドです。ここでは学問を学ぶということだけではなく、何をしたいのか、その選択肢を悩みながら歩み続けることがつぎへの強みになるものだと思います。大学で好きなことを感じながら、いまをおもいつきり楽しむことがつぎへと繋がる近道であると信じています。

刑法 I

まず最初に、刑法とは何か、刑法の成り立ち、目的、そして刑法の機能を学ぶことから始まり、その後刑法の条文を勉強していきます。その都度、条文に関連した判例を扱います。

例えば、「AがBを蹴りつけたところ、通常であれば10日程度で治る怪我であったにもかかわらず、たまたまBが病気を持っていて亡くなってしまった場合、Aは殺人罪に問われるのか」と、いった判例などを扱います。



国際法

国際法ではその名の通り、国際的に使われている法律やその歴史について学びます。

高校までの世界史に近いかもしれません。国際連合や戦争・紛争などに関する条約を扱い、なぜこの条約ができたのかという根底から学ぶことができます。

具体的な判例を用いながら学んでいくので、初めて学ぶ人であっても理解しやすいような工夫がされています。

憲法・基礎II

憲法・基礎IIでは、生存権、思想・良心の自由、裁判を受ける権利など、「憲法上の権利」論を扱います。

授業は、配布されるレジュメに沿って進行し、成績の評価は期末試験が主となります。授業を通して、たくさんの判例を学ぶことになりますが、ここで扱う判例は有名なものが多く、また先生により分かりやすく説明して頂けるため、履修後も頭に残っている学生が多いです。

また、法学初学者向けに、判例の読み方、答案の作り方、法律学の基礎を学ぶことができる所以、1年生からでも対応可能です。

民法・基礎II

民法・基礎IIでは、内容として不法行為を扱います。

不法行為とは、例えば、「AがBに怪我を負わせてしまったとします。Bは、入院して10万円の治療費がかかり、また1ヶ月間仕事を休んだ間に、働ければ得られたはずの20万円の収入が失われた。このような場合に、治療費と失われた収入は、加害者たるAによって穴埋めされなければならない」、ということになります。

不法行為に関する事件は現在では非常に多く、出される判例も、民法関係で最も多いためとても重要な分野です。

先輩たちの声

企業法学科のいいところ

法律を学ぶことで社会で起きていることをより理解することができます。

(例) 国際情勢→国際法、東京オリンピックエンブレム問題→知的財産法、年金の仕組み→社会保障法

どんなことが身についた?

ただいくつかの条文を覚えるのではなく、各事例ごとになぜそういうした結論が導かれるのかを論理的に学ぶことができます。

企業法学科の大変なところ

試験のみで成績が決まる科目が多いので、こつこつと勉強する必要があります。それと教科書・判例集・六法と持ち物が多いのが大変ですね。

商法Ⅰ

商法Ⅰでは会社法という法律について学びます。会社にはどのような種類のものがあるか、どんな組織があるか、どうやって成り立っているか、など基礎的なことからしっかりと学ぶことができる講義です。ときには、ある株式会社の株主総会をビデオで視聴することもあります。また、不定期でグループワークを行うこともあります。班内で議論することで「考える力」も身につけることができるでしょう。企業法学科の人はもちろん、他学科の人も必ず履修しておきたい科目のひとつだと思います。

先輩たちの声

先生が優しく、わかりやすく講義を進めてくれます！グループワークも何度も行ったので、講義内容が頭に入りやすかったです。それと、テスト時にプリントや教科書が持込可なこともおすすめポイントです！





社会情報学科

MANAGEMENT SCIENCE

社会情報学科では、パソコンを扱う授業が多いと思っている方も多いのではないかでしょうか。確かにプログラミングを学んだり、ホームページを作成してみたり、パソコンを扱うことは多いです。しかし、決してそれだけという訳ではありません。ビジネスの仕組みや、コミュニケーションの取り方など、今後社会に出た際に役立つ知識を様々な角度から学ぶことができます。それが社会情報学科の特性と言えるでしょう。



学科教員に聞いてみたい！

社会情報学科のこんなところ

加地 太一 先生

研究分野は、情報工学、社会システム工学。
小樽商科大学では、社会情報入門Ⅱ、ソフトウェア科学、情報処理、コンピュータサイエンスの講義担当経験あり。



Q1 商大の社会情報学科でどんなことが学べますか。

実践的で、幅が広い分野を学べ、職業人としての基礎的知識を得ることができます。と言うのが学生さんから聞くご意見でした。実際、現代社会において、情報が、世界を支配していると言っても過言ではなく、あらゆる所に精通する分野となりました。プロジェクト、マネジメントにおける計画、意志決定、運用はもちろんのこと、組織におけるコミュニケーション、社会システムの構築法を学んでいきます。そして、現代社会に欠かせないコンピュータ、タブレット、スマホなどの利用の仕方、システム開発など様々なことが学べると言って良いでしょう。

Q2 社会情報学科の特徴・学科内の学問のつながりを教えてください。

様々な分野からのアプローチの集合体だと考えて頂ければ良いのではないでしょうか。情報という切り口で、あらゆる分野を捉えることができます。したがって、この学科にいる先生方は、情報の世界から社会科学的な分野などにも果敢にトライしています。すなわち、既存の学問の枠組みを越えた分野に挑戦している学科であるとお考えください。

Q3 社会情報学科はパソコンを使うイメージがあるのですが、実際の所はどうですか？

逆に今、パソコンを使わない学科は存在しないのではないか。また、数学的方法論も、現代の社会科学において欠かせない道具の一つだと思います。確かに、両者を道具として使う先生が多いと思います。ただ、それが主ではありません。むしろ、情報の収得、利用、運用などを考えることが主となります。要するに、直感、思惑、希望的観測などに支配されず、情報という客観的な世界から世の中を見てみようと言うことが大事だと思います。正直、パソコン、数学ができない大丈夫です。他学科ではそれらについて学生任せかもしれません、社会情報学科の先生は、基本を熟知しているから基礎からしっかり教えてくれるのではないか。ちなみに、意外と勉強内容が理解しやすく、出席点がもらえて、単位が取りやすいことですよ。

Q4 学科によって就職先に違いはありますか、また、社会情報学科の学生は過去にどんな企業へ就職していますか？

たぶん、どの学科に属しても同様な就職先だと思います。公務員もいますし、金融系も多いです。ただ、情報に興味がある人が多いのか、情報系は他学科に比べて多いはずです。というか、商大に来ている求人も情報系がトップのはずだったと思います。むしろ、世の中から必要とされている職域であり、オタク的な人がやっているわけでもありません。世の中を広く見渡せる文系的な知識を持つ人達が中心というのが実情です。ちなみに、私のゼミでは、毎年、多くは金融系であり、1, 2人が公務員となっており、情報系が以外と少ないのです (T_T) 。それから、学生に言わせると授業中、公務員の勉強ができ、良かったそうですよ (笑) 。最後に、他学科と同様、様々な分野に就職していますが、社会情報学科で学んだことは、実践的、かつ応用がきき、どの分野に行っても役に立つこと間違いないです。

Q5 最後に、一年生へ一言お願ひいたします！

是非、社会情報学科へ来てください。これ一言です。



これはとりたいオススメ授業

オペレーションズ・リサーチ

線形計画法に始まり、離れた土地へ輸送するコストを最小化する方法、商品の管理コストを最小化する方法、行列の待ち時間を最小化する方法など、日常で見かけることや耳にすることがある、これらの方法を数式を使って導出していこう、というスタイルで行われます。

それぞれの単元の講義が終了した後、その単元の小テストが行われます。その際は、自分でまとめたノート以外持ち込めないので注意が必要です。

また、ルート計算を行うので、平方根機能付きの電卓を携帯するようにしましょう。

先輩たちの声

社会情報学科のいいところ

- ・コミュニケーションやパソコンの授業が豊富なので、今後社会に出てから具体的に役立ちそうな、興味の引く内容が多いです。

どんなことが身についた？

プログラミングの基礎はもちろん、「より良い組織を作るにはどうすればよいか」ということや、コミュニケーションに関する知識も得られます。

社会情報学科の大変なところ

パソコンに苦手意識がある人には難しい講義があります。

組織コミュニケーション論

人をまとめるリーダーには何が必要なのか。実りある会議をするにはどうすればいいのか。組織を作るうえで欠かせないポイントを学べる講義です。

その他にも、グループを作って実際の会議のように意見を出し合ったり、発表するという機会もあります。

また、世界で成功を収めた人たちについて学ぶビデオの鑑賞もします。良い組織がどうやって構成されていくのか、この講義を通じて多くのことを学ぶことができるるのは間違ひありません。



先輩たちの声

- ・とにかくためになります。
- ・これから人の上に立とうと考えている人はぜひ取るべきです！

デジタルデザイン論

ホームページ作りのために活かせる基本的なポイントをはじめ、秀逸な企業ホームページとはどのようなものなのか、今後社会に出た際に非常に役に立つ知識を沢山得ることができる講義です。

講義は4~5人のグループワークによって行われます。実際にホームページを作るためにグループで企画を出し合い、プレゼンも行うので、コミュニケーション能力を鍛えるにも、うってつけかもしれません。

まさに「タメになる講義」です。

情報処理

情報処理センターのパソコンを使ったプログラミングの授業です。

週に2回講義があり、1回は座学で必要な知識を身につけ、もう1回は実習で実際にプログラミングを作成します。

座学では小テストが、実習では次回までの課題がほぼ毎週出されます。回を重ねるごとにプログラミングのレベルは上がる所以、友達と協力して教えあう事をオススメします。

小テストや課題などやる事がとても多いですが、その分正しくプログラムを作れた時の達成感はなかなかのものです。

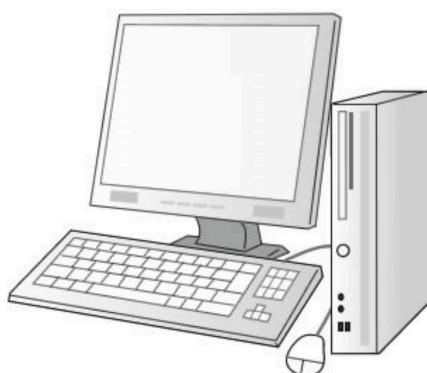
情報数理

離散数理の基礎理解を目的とした授業です。

前半は高校数学の「集合」や、基礎数学で学ぶ「論理式」などすでに学んだことがある内容や、極めて安易な内容を学びます。

後半は、要素の対応関係にどのような種類があるかを考え、「グラフ」を用いてデータを表現する方法を扱います。

講義中に練習問題をいくつか解き、その都度解説を行うので、講義内容の理解度は高くなることが期待でき、取り扱っている内容も簡単な事ばかりなので数学が苦手な方にもオススメです。



謝 辞

この学科選択支援冊子は、多くの方々のご協力なしには到底完成しないものでした。

まず、生協学生委員会・緑丘祭実行委員会・文芸サークルアジュニアの皆さんには、後輩に説明することを想像しながら、短い文字数での確に授業のコメント・コラムを寄せてくださいました。皆さんのコメント無しには、この冊子編集はスタートしませんでした。

各学科に関するインタビューをお引き受け下さった先生方のご芳名を、以下に掲載させて頂きます。お忙しい中、突然のお願いであったにも関わらず、インタビューに応じて下さいましてありがとうございました。

経済学科 柴山 千里 先生

商学科 上山 晋平 先生

企業法学科 河森 計二 先生

社会情報学科 加地 太一 先生 (インタビュー掲載順)

緑丘祭実行委員会の皆さんには、製本作業を手伝ってくれました。どうもありがとうございます。

おりに



学科選択支援冊子『ECLM』を手に取っていただきありがとうございます！

いかがでしたか？

少しでも4学科について新しい発見があったでしょうか。

備えあれば憂いなし、という言葉通り、知識は持っていて損になることはありません。この冊子から得た情報が、少しでも皆さんの学科選択を有意義にするための知識になることがあれば、それほど嬉しいことはありません。

「経済学科」、「商学科」、「企業法学科」、「社会情報学科」、これら4つの学科それぞれに個性と利点が備わっています。小樽商科大学に入った皆さんには、これだけ多様な分野を学べるチャンスがあるということです。

自分が興味を持てる分野がまだ分からない人は、思い切って未知の分野に挑戦してみる良い機会かもしれません。反対に、自分の学びたいことをじっくり考えて学科選択をすることも大切です。

大事なのは広い視野をもつことです。

皆さんのが有意義な学科選択ができるることを、応援しております！

平成27年11月2日 編集代表



学科選択支援冊子ECLM 2015

発行日：平成27年11月2日

編集者：稻童丸 翔

発行者：稻童丸 翔

発行所：小樽商科大学 学生自治会事務局

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

小樽商科大学 大学会館2F自治会室（内線：6550）

許可なく本書の一部または全部を複製することを禁ず。